



◆ 野外オペ「西オングル」その①

1月17日～19日の3日間、測地合同チームの支援員として、昭和基地のある東オングル島の隣の島「西オングル」の野外オペレーションに参加しました。その報告をします。

17日、8:30。BヘリポートからASヘリで西オングルへ向かいます。荷物もあるため3便に分かれて出発しました。1便（私と宙空の源隊員）、2便（下野、大山隊員）、3便（塩原隊員）。3分ほどで到着です。1・3便は、宙空のテレメータ施設に着陸。2便は、対空標識の補修のため、西オングルの大池付近に着陸。宙空グループは、数日前より誘導磁力計や自然エネルギー電源整備のため西オングルに入っており、今日が最終日です。宙空班取材後、私と塩原隊員は、電源施設横にテントを設営。その後、昼食作り。下野、大山隊員が補修を終え合流。昼食後、4名で三角点の新設と標識補修のため、GPS器材、ハンマードリル、ペンキ等を持ち、西オングルの西域に向かいました。比較的標高の高い見晴らしのいい場所を探し、新設点の場所を決めます。ドリルで岩盤に穴をあけ、ボルトと接着剤で三角点を固定します。基準点としての位置データ取得に、現在ではGPS測定を行います。標識の真上に水平に設置し、風で移動しないようロープや石で固定し、丸一日データを取得します。そして、周囲に白いペンキで対空標識を新たに塗布しました。

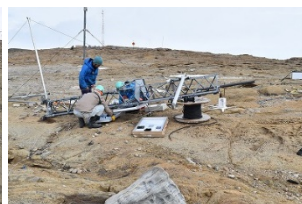


国土地理院 三角点

キャンプサイトに帰り、塩原隊員と夕食作り。グルメ大山・下野隊員の胃袋を満たすべく、具材豊富な「特製キムチ鍋」を作りました。風が強く、氷点下まで冷え込んだ夜にはピッタリの夕飯となりました。



わずか3分で到着



宙空班。太陽光パネル交換。



テント設営しました。



ハンマードリルで穴開け作業



ボルトと接着剤で固定



GPSで三角点の位置測定



対空標識のペンキ塗り



特製キムチ鍋

◆ JARE57 隊員紹介

下野 隆洋 (38) 夏隊 測地担当 三重県出身
国土地理院基本図情報部

三重県立木本高校より東京理科大学理工学部土木工学科に進学。リモートセンシング技術を用いた渦潮の渦流解析をおこなっていた。職場では、技術開発室（測量分野）に所属し、専攻を生かした新技術開発に取り組んでいる。浅間山や新燃岳の噴火時は、合成開口レーダーを搭載した航空機で観測にも携わった。南極では、大陸の動きを探るべく、約20か所ある三角点でのGPS測量や水準測量に取り組む。南極へは若いころから純粋に興味を持っていた。せっかくの機会、見るものすべてを吸収したい。趣味の釣りも出来れば。皆さんへは「**チャンスを掴むための準備を怠りなく、そして、興味あることには躊躇なくチャレンジを**」とアドバイス。結婚1年未満の新婚さんです。早く、妻の顔が見たい・・・♡。



GPS設置調整中の下野隊員

◆ 南極トリビア

次のうち、南極に生息していない動物は？（事前アンケートで結構間違っていました、さすがに・・・）

- ① アザラシ ② シロクマ ③ カモメ ④ ペンギン ⑤ クジラ